

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/

民主なかがわ

第205号

しんぶん赤旗 を
お読みください
日刊3,497円／月
日曜版930円／月
申込み 363-1450

2021年希望ある年に

2021年が始まりました。新型コロナウイルス感染症への不安が続きますが、市民が声をあげ運動することで、感染拡大防止対策が少しずつ前進しています。

感染拡大ふせぎ経済再生

コロナ後を見据えた社会経済活動の回復が求められる年です。気を緩めることなく、政府の姿勢を抜本的に変えてPCR検査・保護・追跡を大規模にし、そして、

病院病床を確保する。こうしてこそ経済再生もできます。

総選挙、市長選で政権交代

次の総選挙、4月の市長選挙で、政権も市長も変えて希望ある2021年にすることが期待されています。

日本共産党は、市民と野党の共闘で、新しい政治実現に全力を尽くす決意を表明しています。



戦争法廃止を求めて

コロナ危機から国民を守り、海外で戦争する国づくりに反対する集会・パレードが、昨年12月19日、中川区で行なわれました。参加者は元気に沿道にアピールしていました。

中川区をよくする会が区交渉

中川区をよくする会(代表・坂野逸朗西部民商副会長、日本共産党も参加)は、中川区役所各部門と、要求書に基づく懇談会を昨年11月30日行ないました。

「国保の減免・資格証明書等について」特別減免の申請が、コロナ禍対応として郵送でできるようになったこと、また、コロナ禍対応として資格証明書の廃止、短期保険証交付とされていることを評価しつつ、期限

本年もみなさんの要求実現に全力を尽くします。よろしく願います。▼2020年を振り返りうれしい出来事3題▼河村市長は、民間を誉め公務員をけなします。職員削減、賃下げに熱心。そこで、コロナ禍で奮闘する保健所など感染拡大防止に奮闘する職員の活動について認識を6月議会へ質問。



声を上げれば政治は変わる 市議 江上博之

市長は「感謝する。市民に成り代わってありがとうと言いたい」と。職員の仕事を認めた。そして、体制強化を求めました。▼コロナ対策で市と県の連携に不安。そこで、河村市長、大村知事に直接申し入れようと動きました。大

の延長、正規保険証の交付を求めました。

インフルエンザ予防接種



無料化の対象者拡大、敬老パスの民間バスへの拡大を評価しつつ、高齢者の健康増進、経済効果等の観点から、利用回数制限の撤廃を強く求めました。その他の要望として、小規模学校の統廃合をしないこと、少人数学級の推進・拡大、高畑市場の跡地活用、荒子川の引き続き清掃・管理等で要望がありました。最後に、引き続き区民の要望で懇談し地域の改善に努力し合うことを確認しました。

弁護士相談 1月21日 (木) 午後6時半電話連絡 363-1450 江上事務所

二〇二〇年感染対策提案し前進

名古屋市11月議会でも江上市議

江上博之市議は11月30日、

名古屋市長会本会議で、

(1) 新型コロナウイルス

感染症拡大防止のためにPCR検査・保護・追跡調査

ついて質問しました。

PCR検査・保護・追跡調査を

日本共産党市議団は、今年7月からの感染拡大にあり、感染拡大防止のために、①無症状の感染者を把握し、保護し、感染経路を追跡調査すること。②集中的に感染震源地である栄地区繁華街を面的に検査すること。③検査方法として、



地域全体の住民、従業員など全員にPCR検査を実施することを求めてきました。PCR検査については、「一般的に感度は70%程度」という見解があります。確かに、個人個人の診断では、コロナウイルスがのどや鼻の奥になく肺にあれば陰性となってしまう。しか

し、感染は、くしゃみや発声による飛沫で広がります。のどや鼻の奥にウイルスがあれば、ほぼ100%検出できる精度の高いのがPCR検査です。感染拡大防止の検査には効果があることを示してきました。

面的大規模集中検査を

名古屋市として、業種を限定することなく面的に無症状の方を含め地域関係者全員にPCR検査をおこなうことを求めました。市は、「必要に応じてPCR検査



等を受けることができる体制の構築に努めてまいりました」と回答。そして、10月末、栄繁華街の地域を特定して、無症状の方を含めPCR検査を行いました。11月には、8月に休業要請した地域を特定して、「新型コロナウイルス感染防止対策協力店認定制度」を創設し、「接待を伴う飲食店」に限りませんが、無症状の従業員に対する唾液によるPCR検査を実施。党市議団の要求が

を確保することを求めました。市は、「今後、感染拡大時にも迅速かつ的確に対応できるように、体制の強化を検討してまいります」と回答。再質問も行い、追跡調査体制の充実で、面的にPCR検査を実施するよう求めました。

高齢者施設等で社会的検査を

江上市議は、病院や高齢者施設等への集団的な検査のために、施設を特定してPCR検査を定期的に行う「社会的検査」の実施を求めました。市は、「これまでも当該施設の入所者及び従事者全員に検査を実施した事例もございまして、今後も柔軟に検査対象を拡大して検査を実施するなどの対応を行ってまいります」と回答しました。

河村市長に決断求める

江上市議は、面的に検査をすること、高齢者施設等で一人でも出れば全面的に検査すること、そして、地域との関係性を築いている各保健センターのもとに追跡専門の人材を確保して、感染拡大を絶つよう決意を求めました。

追跡調査充実を

江上市議は、追跡調査充実のために保健所のもとに、感染追跡専門の組織・人員

河村市長は、「一人でもなくさんの人をやっていくことはええことだ」「PCRもやれるだけというか、とにかく一人でもようけやれるように増やしていきたい」と回答。最後に、江上市議は、休業損失を補償することが経済回復の大きな力になると要望しました。

保健所・センター増員 追跡調査体制前進

その後、12月9日、本会議で、追加補正予算が可決されました。75名の看護職などを増員するものです。中保健センターに9人、中

名古屋城整備は、文化財保護優先で

江上市議は、名古屋城整備についても質問しました。現天守は戦後復興の象徴

文化財保護の観点から、

江戸時代の「水道」遺構調査も、戦後復興の象徴である現天守閣がいかん建設されたのか、現天守再建にあたっての苦言も含めてしっかりと市民に示し、文化財としての価値がある現天守のすばらしさを市民に知らせることを求めました。

文化庁も認める耐震補強

江上市議は、文化庁が、鉄骨鉄筋コンクリートの耐震補強・老朽化補強による延命策を認めていることを示し、天守閣木造化を中止し、現天守の耐震・老朽化補強で文化財として残すことを求めました。そして、今やるべきは、石垣の保全に全力を尽くすことだと、方針の転換を求めました。

1月早朝宣伝

4日	月	市役所前
5日	火	下之一色
8日	金	地下鉄高畑
12日	火	JR春田
15日	金	万場小橋
19日	火	名鉄山王
22日	金	あおなみ線中島
26日	火	近鉄伏屋
28日	木	あおなみ線荒子
29日	金	JR尾頭橋
朝7時半から8時10分		

無料相談 (子育て・教育問題も) 毎週月・木 午後6時半から8時
弁護士相談 毎月第3木曜 江上ひろゆき事務所まで電話363-1450



し、内部は近代的な博物館機能を有する、戦後復興の象徴として再建されました。